

沖縄伝統空手世界遠征日記 〈ヨーロッパ編〉

沖縄空手道拳法会静岡県支部剛琉館 佐藤 哲治

第三回 スロバキア空手指導

スロバキア剛柔流空手拳法セミナーには、各国で空手を指導する立場の人たちが多く参加しているようでした。

まずは足先の予備運動から始めます。予備運動とは、剛柔流における準備運動のようなものですが、単なる準備運動ではなく、空手の技に直接つながる大切な稽古法です。

空手の源流につながる中国拳法は靴を履く文化の中で成立していますが、空手発祥の琉球王国時代は、草履などの文化。当然足指が自由になることを前提に技術体系が成立しています。現在のスポーツ空手競技の中では、直接的に使うことはあまりないかもしれませんが、発祥の地沖縄においては、足指を使う様々な技法が残されています。靴の文化の中にあるヨーロッパの人たちにとっては、足指の運動はなかなか難しいようで、大男たちが四苦八苦しながら懸命に足指の運動に取り組み姿は、ほほえましく感じられました。こうした技術を伝え残していくことは、発祥の地の空手を学ぶ者の責務でしょう。

ともあれ、続けて取手(トウイディ)と呼ばれる関節技にもつながる手首の運動や受け身などいくつかの予備運動から、基本稽古、型稽古へと進んでいきます。日本語、英語、ハンガリー語、スロバキア語、ロシア語、ドイツ語、およそ六か国の言語に分かれる各国からの参加者に、思いを伝えるのは難しいかとも思っていました。語学に堪能かつ剛柔流の腕前も相当な清水さんによる、日本語からハンガリー語への通訳を起点として、参加者がハンガリー語→スロバキア語→ロシア語…といった通訳のリレーをすることで、ほとんど問題なく意思疎通を図ることができました。

そうすると、稽古も一層熱を帯びてきます。空手の型は、本来武術としての性格上、一見ただけでは何をしているかわからないようにできている部分が多いので、見た目そのままの動きが、必ずしもその型が本来意図する意味合いと結びつくとは限りません。これを理解するには師からの口伝が必要であり、かつては師に認められた、限られた弟子にしか伝授されることがなかったもののようなのです。しかし、現代にあつては、これを敢えて公開する努力をしないと、長い歴史の中で

大庭新会長

用者がなければ新駅一区区長会副会長

培われてきた技術が消えてしまいかねません。海外指導に訪れた際、稽古参加者の熱意が感じられる時には、そんな型に隠れた技術を指導する師匠にも熱が入ってきます。私も技の実演のために、本気で関心に飛び掛かっけて行きますが、一撃で悶絶させられたり、投げ飛ばされたら、あるいは手首や肘、肩の関節を同時に極められたままの散歩のように引きずりまわされたり…正に体を張らなくてはなりません。

しかし、間近で見ると発祥の地沖縄からやってきた師匠の神技に、あつげにとられつつも感激の表情で見入る参加者たちを見ると、遠い異国で伝統の技を伝えられることをとてもうれしく思いました。また、自分自身、師匠の技を直接感じられることへのありがたさを感じました。

そんな形で大盛況のうちに約4時間の稽古はあつたという間に終了です。参加された皆さんには、空手発祥の地沖縄の剛柔流空手拳法の一端を感じていただけたものと思います。

稽古後は、私たちのために特別に用意してくれた豚一頭の丸焼きを、同じ夢を求める異国の友人たちと、おなか一杯いただきながら、日本から約九千km、遠く離れたスロバキアの夜は更けていきました。(つづく)



スロバキアでの空手指導

新駅運動を織り込んで実施する。

五、「深良地区まちづくり協議会」との連携および活動支援を行う。

六、近隣市町への協力要請を行う。

七、その他本会が行う具体的な活動は、理事会で決定し実施する。

総会の最後に深良地区まちづくり協議会の西山捷一会長が、同協議会の近況につ

野、富士、富士宮市、小山町)の一員として出展するもので、五市町で統一感のあるパネルを展示するほか、合同のパンフレットを配布して「富士山のふもと暮らして」をアピールする。

一方、世田谷区の複合施設「二子玉川ライズ中央広場」で行われる「ふるさと納税秋祭」は、インターネットのふるさと

野、富士、富士宮市、小山町)の一員として出展するもので、五市町で統一感のあるパネルを展示するほか、合同のパンフレットを配布して「富士山のふもと暮らして」をアピールする。

一方、世田谷区の複合施設「二子玉川ライズ中央広場」で行われる「ふるさと納税秋祭」は、インターネットのふるさと

「峰の雪」たわわに

北駿で稲刈り始まる

【小山】北駿地方で、稲刈りが始まった。

小山町吉久保の渡辺巧さん方では、もち米の「峰の雪」が刈られている。コンバインのエンジン音を響かせ、たわわに実った稲穂が刈られていく。

七月が暑く、今年の稲刈りは早いと思われるが、八月に入って太陽が見えない日が続き、結局もち米とうるち米の稲刈りが同時になった。

明日から雨の模様で、渡辺さんは「雨の降る前に刈り終えたい」と、稲刈りを急いでいた。

【写真】コンバインのエンジン音を響かせて稲刈りが行われる。小山町吉久保で。

加東へファイベネ

増進の厚生福利

必要。事業主でも入会。問い合。ファイベネ(五七五)当課。

【裾野】第七回のパノラコスモアイイベント十七の両パーク

【御殿場・裾野】ベネファイ駿東(駿東勤労者福祉センター)は、御殿場市・裾野市・長泉町・小山町の中小企業に働く人と事業主の福利厚生増進を図ることを目的とした組織。

入会の対象は、二市二町にある中小企業・医療機関・自営業。

【御殿場】御殿場市商工会青年部は「SNS活用術セミナー」への参加を呼びかけている。

セミナーは、十月四日と八日の二回、いずれも午後七時から市民会館で開かれる。ツイッターやフェイスブック、イン

SNSで顧客

御市商工会が

【御殿場】御殿場市商工会青年部は「SNS活用術セミナー」への参加を呼びかけている。

セミナーは、十月四日と八日の二回、いずれも午後七時から市民会館で開かれる。ツイッターやフェイスブック、イン